



進路を見つめて

1年生も2年生も来年度の選択科目の希望を提出しましたね。その検討に際し、自分の進路について、御家族とも相談し、よく考えたことと思います。その進路を実現するための大学入試について整理しておくので（2年生には進路ガイダンスでも話しましたが）、確認しておきましょう。

「共通テスト(大学入学共通テスト)」とは

1月の「共通テスト」まで1箇月を切り、3年生は、「共通テスト特講」と題して「共通テスト」の対策問題演習に励んでいます。本校でも9割以上の生徒が受験する「共通テスト」について知っておきましょう。

そもそもは、大学ごとに行っていた国公立大学の一次試験を統一して実施した「共通一次試験」に始まり、その後継の「大学入試センター試験」になって私立大学も参加するようになり、それが大学入試改革の一環として「大学入学共通テスト」になりました。結局、改革の目玉だった「記述式問題」「英語外部試験利用」「eポートフォリオ」の導入は、さまざまな問題点の指摘を受け見送られましたが、その影響は国公立大学のみならず私立大学の入試方法の変更にも残っています。

「共通テスト」は、国公立大学の場合、原則として、5（または6）教科・7（または8）科目と多くの科目が課せられます。

実施日（今年度は1月15・16日）の翌日の新聞には主な科目の問題と解答が掲載されます。（ネット上では、当日の夜に公開されます。）予備校によっては、共通テスト当日に（時間は問題が公開されてからなので午後になりますが）「共通テスト同日体験受験」を実施するところもあります。1・2年までの学習で対応できる科目もあるので、チャレンジしてみるのもいいでしょう。



国公立大学「個別学力検査(二次試験)」

国公立大学の場合は、一次試験に当たる「共通テスト」の後に「個別学力検査（二次試験）」があり、その総合成績で合否が決まります。「個別学力検査」は、大学によって科目も形式もさまざまですが、記述・論述式の試験が中心です。面接や小論文を実施するところもあります。

私立大学「一般入試」

私立大学の「一般入試」は、主に2月に行われ、これが募集の中心になります。3科目型が中心ですが、大学・学部によりさまざまなパターンがあります。近年増えているのが「英語外部試験利用入試」で、英検・TEAP・GTEC・TOEFLなどの外部試験の成績を利用するものですが、利用できる外部試験の種類、利用方法・条件などは、大学によってさまざまです。上記の「共通テスト」を利用する入試も、多くの私立大学が採用しています。科目数は、3科目型が中心ですが、大学・学部によってさまざまなパターンがあります。「共通テスト」の成績のみで合否判定をするものもあれば、大学の独自試験と組み合わせるものもあります。

「学校推薦型選抜」「総合型選抜」

他に「学校推薦型選抜」「総合型選抜」もあります。

「学校推薦型選抜」は、いわゆる推薦入試で、大学が高校を指定して推薦者を募る「指定校推薦」と、大学が指定した条件にさえばどの高校からでも出願できる「公募制推薦」とがあります。

「総合型選抜」は以前の「AO入試」に当たりますが、学力評価（小論文・プレゼンテーションなどを含む）が必須になりました。

国公立大学の「学校推薦型選抜」「総合型選抜」では「共通テスト」を課す場合もあります。

今すべきこと

進路実現のために、今すべきことは何でしょうか。それは日々の学習活動をきちんとこなすことです。学校の勉強とまったく別の「受験勉強」という特別な勉強があるわけではありません。勿論、3年の後半には、大学の過去問題を解き、傾向を知り対策を練ったりします。しかし、それは基礎学力をしっかりと身に付けた上で、問題演習の延長上にあることです。まずは普段の授業内容をしっかりと身に付けることが必要です。

部活動に打ち込みたい人ほど、普段の授業で解らないことが無いように、しっかりと勉強しましょう。学習面で余裕があれば、大事な大会に精力を注いでも、**部活動と学習との両立**ができます。部活動で身に付けた体力と集中力は、部活動を引退した後の受験勉強にも役立つはずですよ。

まずは**苦手科目をそのままにしない**ようにしましょう。苦手科目があると進路選択の幅を狭めてしまいます。勿論、人間誰しも得意不得意はありますが、本当に自分に向いていないのかどうかは全力で取り組んでみないと判りません。手を抜いていたせいで苦手だったものが、本気で取り組んでみたら得意に変わることもあります。

そして、**得意な科目・分野は、さらに深く勉強**してみましょう。理解が深まれば、勉強が面白くなります。得意科目・分野があると、受験でも武器になり、自信にもつながります。そこから自分の能力を生かすことのできる具体的な進路が見えてくることもあるでしょう。

「進路の手引き」を活用しよう

1学期に配られた「進路の手引き」を覚えていると思います。進路に関する内容がほぼ網羅されているので、見返してみてください。よく分からないことがあったら、担任や教科担当や進路指導部の先生に、気軽に相談してください。



ルビコン河畔 ～進路コラム～

先週最終回を迎えたTVドラマ『日本沈没』。日本列島は見事に沈んでしまいましたが“希望”は残りましたとき。さてこの物語は約50年前小松左京さんの原作で、当時大きな話題を呼び映画化もされました。内容は今回のドラマとはかなり異なりますが、今も昔も巨大災害の到来に、常におびえている日本の姿は変わりません。2021年はもうすぐ終わります。新型コロナウイルス感染症におびえながら、それでも東京オリンピック・パラリンピックは開催されました。そういえば東京での開催は57年ぶりだし、約半世紀を経て比べてみると、日本がどう変化してきたのか？そして何が変わらないのか？少し見えてきます。長い人生の中で最も楽しいといわれる高校時代。君たちにとって今年はどうな1年だったのでしょうか。来年のことは誰にも分かりませんが、何があっても腐らずに、投げ出さずに、あきらめずに、“希望”を持ち続けることは大切です。

進路ニュース(12月に実施した主な進路関係行事等)

■共通テスト特講(3年) ■ウィンターセミナー・進路講演会(2年) ■進路講話(1年)